# YUMI MAEDA

Photo: Koji Maeda / Ushiro

## 気配をつかまえる

僕が生まれ育った長崎には、「旗揚げ」という遊びがあります。これはいわゆる「凧」ですが、風になびく船旗に由来して「旗」と呼ばれています。「旗」は、交流の深かったオランダの国旗を模して、青・赤・白で構成された抽象的な図象になっています。「旗」を通して、風だけではなく、文化の一端が目に見えます。

この「旗」のように、建築を通して、見えないもの、くらしの中に馴染んでいて普段は気づきにくいものを掬い上げられないだろうかと考えています。子どもが「なぜこうなっているのだろう?」と気になってしまうようなもの、小さな違和感のようなものを探すところから設計が始まります。クライアントの要望を聞き、敷地やその周辺を観察し、まちの歴史を調べるあいだに、どこかで自分の身体が面白いと感じるものをつかまえる瞬間があります。

これは「コンテクスト」と言うよりも、「気配」の方が近い気がしています。一度見つけて気になり始めると登場人物のように感じられて、頭の中で、あるいは手を動かす中で、あるいは模型をつくる中でそれらが空間を削り出していく。この「気配」を建築にしたいのです。

## 12月 14日(木)

日時： 2023.12.14(木) 18:00 ～ 20:00
会場： 近畿大学産業理工学部 2327 教室
運営： 渕上貴代研究室 F.lab.kindai

Photo : Yousuke Harigane

Photo : Yashiro Photo Office

## 百枝 優（ももえだ ゆう）

1983 年長崎出身。九州大学芸術工学部環境設計学科、横浜国立大学大学院 / 建築都市スクール Y-GSA を経て、2010 年 隈研吾建築都市設計事務所に入社。

その後、2014 年に百枝優建築設計事務所を設立。礼拝堂や葬祭場などの集会施設から、店舗や宿泊施設などの商業空間、会場構成やインスタレーションまで、規模も用途も異なる、多様なプロジェクトを実現。

「空間の積層」をテーマに、独自の解釈で建築空間に取り込み、新鮮な体験を生み出している。国内外での多数の受賞を機に、福岡を拠点に日本全国、アジアへと活動の場を広げている。